



セミの羽化は、どのくらい時間がかかるの

殻から出て羽がのびるまでに、およそ1時間くらい

セミの種類によって、羽化にかかる時間も、少しずつちがいます。セミの殻の背中が割れて、体がすっかり外に出て、羽がのびきるまでの時間は、およそ1時間くらいです。でも、まだこのときには、羽や体の色がうすく、とてもやわらかなままです。たいてい、この後、数時間、あるいは、一晩たってから、完全なセミの体の色や羽の強さになります。

セミは、オスだけ鳴きますが、ふつう、羽化後4～5日たたないと、鳴けません。

アブラゼミの羽化

どこにでもいるアブラゼミは、およそ5年間くらい土の中で幼虫時代をすごします。そして、あたりがうす暗くなる夕方、地上に出てきます。近くにある木の枝の先とか、葉っぱの裏などに、頭を上にし、つめを立ててしっかりつかまり、数分後には背中が縦に割れ、割れ目から頭が出てきます。

セミは、下にそり返りながら、前足 後足を順に殻から引き出し、おしりの先だけ殻に入ったかっこうで、頭を下にしてじいっとしています。

10分くらいすると、足や体が少し固くなってきますから、セミは腹の力で起き上がり、殻につかまって、おしりの先を殻から引き出します。やっと殻から全部体が出ると、羽がのびはじめ、10分くらいでのびきります。それから、20分くらいたってセミらしい羽の形になり、少しずつ体に色がつきはじめます。

次の日の朝には、セミらしい体の色になります。たいてい、羽化した所からはなれ、別の木の幹などで、体が完全に固まるまで、1日じっとしています。それから、やっと樹液を吸ったり、飛び回ったりしはじめます。(監修・中山 周平)

